

エンドペプチダーゼ Clp

Cat. No. EXWM-4184

Lot. No. (See product label)

はじめに

細菌由来の酵素で、2種類のサブユニット、ペプチダーゼ活性を持つClpPとATPアーゼ活性を __明

持つClpAを含んでいます。ATP依存性エンドペプチダーゼ活性を示すClpAP複合体は、

(ClpP14ClpA6)2の構成を持っています。ClpPはペプチダーゼファミリーS14の代表的な例で

す。

エンドペプチダーゼ Ti; カゼイン分解プロテアーゼ; プロテアーゼ Ti; ATP依存性 Clp プロテ 別名

アーゼ; エンドペプチダーゼ Ti; カゼイン分解プロテアーゼ; ClpP; Clp プロテアーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.4.21.92

CAS登□番号 110910-59-3

ATPおよびMg2+の存在下でのタンパク質の小ペプチドへの加水分解。 α -カゼインが通常のテ 反[]

> スト基質です。ATPが存在しない場合、5残基未□のオリゴペプチドのみが加水分解されます (例えば、スキシニル-レウ-チロ+NHMecやレウ-チロ-レウ+チロ-トリプトファンでは、-チロ

+レウ-および-チロ+トリプトファン結合の切断も発生します)。

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。お客□の仕□に□じてカ

スタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してくだ

3110